

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2022年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務			作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱		
工期	令和4年9月5日 ~		令和5年3月31日	作成者	古畑 誠		
作業名称	暴露架台撤去工			作業手順書	令和4年9月2日		
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	4tユニック(2.9t吊り)、軽トラック、ライトバン			改正年月日			
				現場責任者			
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	ディスクサンダー、石頭ハンマーインパクトドライバー			協力会社	会社名 -		
				協力会社責任者	自筆サイン -		
保護具	ヘルメット、手袋(刃物作業時は耐切削用)、保護メガネ、夜間チョッキ、脚絆			作業順序			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証(中型含む)、振動工具(特)					1	現地確認
	玉掛け技能講習、小型移動式クレーン運転技能講習					2	準備作業
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	作業責任者 1人、作業員 5人、保安員 2人					3	暴露架台撤去
	合計 8名					4	架台搬出工
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)		周知会実施日			5	アンカー切断
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)					6	後片付け
						7	
				8			

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)									
	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
現地確認(全員)									
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認・動線の確認							
作業ヤードの確認 (責任者、作業員、保安員)	作業開始前に、作業現場 周辺のヤードをカラーコーン、 コーンバーにて仕切る	通行帯に支障をきたさない 作業ヤードの確認	動線を塞ぎ、通行帯に支障をきたす	△	△	△△	3		作業前に動線をしっかりと確保し、通行帯にはみ出さない
暴露架台撤去 (責任者、作業員)	架台を固定用のボルト、ナットを インパクトドライバーを使用し 撤去し、架台を撤去する。	手元注意、落下注意	インパクトドライバーで誤って手を 損傷させる	△	△	△△	3		保護手袋を着用し、手元を明るくし作業する。
	既設のアンカーボルトを ディスクグラインダーで切断し、 防錆処理を行う。	手元注意、落下注意	ディスクグラインダーで誤って手を 損傷させる	△	×	△×	4		手元を明るくし作業する。
架台搬出工 (責任者、作業員)	ユニックを使用して架台を搬出 する。	玉掛け位置の確認	荷が触れて作業員等を負傷させる。	△	△	△△	3		介錯ロープを使用し荷が触れないように作業する。
後片付け (責任者、作業員)	清掃	破片、工具等が残っている							